

# 持続可能な旅行業を目指し活発な意見交換 Web開催で参加規模はリアル開催の約10倍に

JATAは「持続可能な旅行業を考える」をテーマに、「JATA 経営フォーラム2022」を開催しました。昨年に続く Web 開催となったフォーラムは、2月21日から3月31日までの期間中に JATA 正会員など約1800人が視聴し、参加規模はリアル開催の10倍近くに達しています。

## 新しいツーリズムの道を切り開く

JATAの高橋広行会長は主催者挨拶で、「新型コロナウイルス感染症による先行き不透明な状況が続いているものの、ワクチン接種率の向上や経口治療薬の開発に加え、感染予防対策の実証ツアー実施など、コロナ禍における旅行環境の改善も着実に進展している」と指摘。未曾有の試練に直面する中で「これからのツーリズムのあり方や持続可能なビジネスモデルなど『旅行業再生』を考える機会を得た」という認識を示し、「コロナやSDGsによってもたらされる新たなニーズに応え、新しいツーリズムの道を切り開いていきた



観光庁 和田浩一 長官



JATA 高橋広行 会長

い」と語りました。

## 業界の発展に向けてともに議論を

「JATA 経営フォーラム2022」に祝辞メッセージを寄せた観光庁の和田浩一長官は、「新型コロナウイルス感染症の影響が長期化・深刻化している中で、観光関連事業者の経営をしっかりと支えていきたい」考えを示し、「新たなGOTOトラベル事業を適切な時期に開始できるように準備を進める」方針を明らかにしました。

また、観光庁で「アフターコロナ時代における地域活性化と観光産業に関する検討会」を立ち上げ、旅行業が目指すべき方向性について議論を重ねていることにも言及し、「我々の検討と合わせて、今後の旅行業界の発展に向けた議論とともに進めたい」と呼びかけています。

## 【基調討論】求められる「二刀流の経営」

基調討論では、JATAが昨年10月に立ち上げた「旅行業再生戦略会議」のメンバーが、それぞれの立場から議論を深めました。



モデレーター：JATA 理事・事務局長 池畑 孝治  
パネリスト：(株)JTB 取締役会長 高橋 広行 氏  
ANA X(株) 取締役副社長 加藤 恭子 氏  
(株)エイチ・アイ・エス 取締役上席執行役員 山野邊 淳 氏  
(株)風の旅行社 代表取締役 原 優二 氏  
KNT-CTホールディングス(株) 代表取締役専務 小山 佳延 氏  
(株)日本旅行 秘書広報部長 佐藤 均 氏

同会議の議長を務める高橋 JATA 会長は、基調討論を通じて「旅行業として提供する価値のバージョンアップ」と「旅行業で培った経験やノウハウをベースに新たなビジネス領域へのチャレンジ」という二つの大きな方向性が見えてきたと総括。「コロナ禍によって旅行そのものが消滅したわけではなく、むしろ、その必要性や存在意義はさらに高まった」と指摘し、「新しい時代に相応しい新たな『旅のカタチ』を提供できれば、持続可能で収益性